

40人の児童が 中学校へ羽ばたきました！

6年生は40人、元気いっぱいの子どもたちです。中学校進学に向け、学習や生活の最後のまとめを行いました。また、卒業文集の中には、本校の伝統である「ランドセル絵手紙」が掲載されています。ボランティアの皆さんからご指導を受けて作成しました。また、卒業制作として「学級用ブックスタンド」を各学級に設置してくれました。在校生は、児童会が自分たちで企画した「6年生ありがとう会」を昼休みに実施。オーディションに合格したグループが、ダンスや劇などで6年生に対する感謝の気持ちを表現してくれました。



ボランティア支援によるランドセル絵手紙製作

晴れの日に新成人の青年は大地震越えて初志は逞し
畝立てて少しの雨を待つなれど明日は春雷百ミリ降ると
元気ですねと言葉かけられ励まされスツと背中を吾は伸ばしぬ
みどり児は小さき双手を握りしめ母のみ胸に深く眠りぬ
わが歩く姿の影は縮まりて日毎に春の近づきを知る
輪になっていっしょに遊んだ友だちはだいたいじなだいな宝もの

短歌会

阿蘇野焼煙燦天に追るほど
梅日和合格電話はずむ声
穂やかに阿蘇山眠り雪化粧
地震を経て終の住処や隙間風
車椅子押し行く妻や植木市
日を除けて夕べ待たずの霜柱
凍てる夜の近くにとまる救急車
淡墨の事足る一滴寒の水
寒満月句心生るる峠かな

田島 三間
宮川ユキエ
紫藤 祥子
曾我 育代
曾我トモ子
緒方チエ子
米山るみ子
木村 信子
吉田 幸子

菊陽句会報

きくよう文芸

着ぶくれや姉妹の会話尽きぬこと
望郷のほろにがきかな露の臺
石焼芋口いっぱいにはふはふと
梅香りゆくりゆつくり母歩く
夫なくし友は寒さとさびしさに
駆け抜ける早春の譜聴きながら
鳶舞ひああのどかなり空の果て
日脚伸ぶ八十路に入りて赤きシャツ

財津 早雪
原野レイ子
寺尾千代子
高橋 孝子
福田 貴子
田中 亜古
北川しんじ
佐藤 澄世

有久 賢治
梅田 國雄
河北 幸一
佐藤せい子
中村トシエ
松本 東亜

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば 120

人権啓発標語 「ぼくたちで いじめやさべつ なくそうよ」

菊陽北小学校 5年 永田琉伊斗(現在6年生)

「生まれてきてくれてありがとう」

菊陽中学校 2年 田宮 美海(現在3年生)



命の大切さを感じ 一生懸命生きていきたい

私は、学校で「人権」や「周りの人を大事にすること」などについてたくさん学びました。今は、総合的な学習の時間に「母の仕事」という教材について学習しています。学習の中で家族の職業や自分自身の生き方について考えました。

私は、看護師になりたいと考えています。そう思ったきっかけは、妹です。

妹は、私が中学1年生の時に、病気で亡くなりました。妹は「十三トリソミー」という生まれつきの病気でした。母は、「この病気の子どもは、1歳まで生きられない」と病院で言われたと話していました。

妹は生まれて1年5カ月もの間NICU(新生児集中治療室)にいました。母の願いもあり、その後、家で訪問看護をしてもらいながら、生活できるようになりました。

訪問看護に来てくださる看護師さんに妹の誕生日には、年の数と同じ段数のケーキをつくってもらいました。母は、妹の誕生日である10月が来るたびに、落ち込んでいました。話を聴くと「誕生日が来るのはうれしいけれど、また、一步命のゴールが近づいたということで一緒に過ごす時間が減っているから悲しくな

る」と言っていました。母は妹と一緒にやりたいことがたくさんありました。その中のいくつかを看護師さんにも協力してもらって叶えることができました。

妹は小学1年生の入学式を迎えてすぐに亡くなってしまいました。私は、その時周りにいてくれた看護師さんやお医者さんを見て、感謝の気持ちでいっぱいになりました。その時、看護師さんは、最後まで一生懸命仕事をしてくれて、亡くなった時には、一緒に泣いて「辛かったね。お母さんを支えてあげてね」といつて励ましてくれました。だから、看護師になって悲しいこともあるけれど、妹のような病気の子どもたちのお世話や介護をして支えたいと思いました。

命は何個もあるものではありません。生まれてきた人一つずつです。私は、妹にもう一度会えるなら「生まれてきてくれてありがとう」と言いたいです。

これから、勉強だけでなく、周りの人を大切にして、毎日を一生懸命生きていきたいと思います。

(先生から)田宮さんが妹とのかかわりの中で考えてきたことがとても伝わります。先生にも大切な命をなくした経験があります。この作文を読んで、一つ一つの命の大切さを改めて実感しました。ありがとう。これから、思いが叶えられるよう頑張ってください。先生も、力になれるよう頑張ります。

菊陽町小中学生の「人権学習意識調査結果」

昨年、菊陽町の小学校5・6年生、中学校1・2・3年生全員を対象とした「人権学習意識調査」を実施しましたので一部を紹介します。設問1「人権学習についてどう思うか」については94.6%の子どもたちが「とても大切」「どちらかといえば大切」と回答していました。設問6「日頃の学習や人権学習でどう変わったか」(複数回答)については「言葉や行動のおかしさや出来事に気づくようになった」66.4%、「自分の言葉、行動のおかしさに気づくようになった」57.5%、「なかまとしてのつながりが深まった」48.6%、「自分、家族、仕事についてプラスで見られるようになった」29.5%などの順でした。

設問1「人権学習についてどう思うか」

